



小川村章

小川村議会報  
第 212 号

# 議会だより

発行 小川村議会

〒 381-3302 長野県上水内郡

小川村大字高府8800番地 8

TEL (026) 217-1246

FAX (026) 269-3578 (代)

メール : gikai@vill.ogawa.nagano.jp

発行責任者 西沢哲朗

議会報編集特別委員会

印刷 中外印刷株式会社

## 4月1日開院した歯科診療所のスタッフ



(左から、太田歯科助手、柏原歯科医師、加藤歯科衛生士、柏原歯科助手)

### 令和7年3月定例会

新年度予算・補正予算等を可決

議案賛否一覧表 ..... 254  
5

#### 一般質問 (質問順)

- 新井 幹夫 議員 ..... 6
- 和田 一秀 議員 ..... 7
- 小林 和人 議員 ..... 8
- 大久保利廣 議員 ..... 9
- 坂井 正 議員 ..... 10
- 峰村 正一 議員 ..... 11
- 山本 陵 議員 ..... 12
- 松本 敏照 議員 ..... 13

#### 常任委員会活動報告(閉会中の調査)

総務建経常任委員会 ..... 14  
社会文教常任委員会 ..... 14

村民の声 ..... 15

議会の動き ..... 16

議長雑感 ..... 16

編集後記 ..... 16

3月定例会

令和7年度当初予算を可決

一般会計総額32億2,400万円 前年度当初比1.4%減

新年度予算の概要

令和7年度一般会計予算は32億2400万円... 前年度と同規模で、前年より4700万円、1.4%減となった。

医療や子育て支援に力点を置き、公営住宅の用地の準備、災害時の情報伝達に不可欠な広域防災行政無線設備の負担などの各事業を盛り込んだ予算編成となった。

歳入では、村税1億8898万円、地方交付税17億3500万円、国庫支出金・県支出金合計で3億698万円、基金繰入金は2億4766万円となった。

令和7年3月定例会は、3月3日から24日までの22日間開かれ、諮問1件、専決処分事項の承認4件、人事案9件、条例案16件、事件案5件、補正予算案5件、新年度予算案7件の全47件について審議し、原案通り承認・可決した。一般質問は8名が登壇し質問した。

一般会計予算

総務費

地方公共団体情報システム標準化対応、70周年記念式典事業、参議院議員選挙費、村長選挙費が増え、全体では33%の大幅増となった。

民生費

社会福祉協議会交付金、集落支援員、制度拡充による児童手当扶助費が増額。障害者自立支援給付事業扶助費が減額となり全体で微増となった。

衛生費

新設した直営歯科診療勘定繰出分で皆増、保健センター公用車庫庫設置、ごみ収集パッカー車購入費として23%の大幅増となった。

農林水産業費

畜産事業、堆肥センター管理費、木質バイオマス推進事業が減、鳥獣対策事業は増で、全体では微増となった。

商工費

3カ月の直営期間を見込み、星と緑のロマンТПィア事業費分が増額となった。

土木費

道路橋梁維持費を増額、除雪ドーザー8t級を購入、公営住宅用地取得・造成分が増額。公営住宅建設と道路橋梁新設改良の分筆測量が減額し、全体では減となった。

消防費

常備消防負担金、防火水槽新設2基、林野火災用ジェットシューター20個購入、県防災無線負担金分が増額となった。

教育費

スクールバス事業で増額、乗用草刈機購入、デジタル教科書関連、タブレット端末50台購入、公民館施設修繕、給食食料費補助等の増額で全体でも増額となった。

災害復旧費

4、5年度の災害復旧がほぼ終了し半減した。

令和7年度一般会計・特別会計・公営企業会計予算額

単位：万円

Table with 6 columns: 会計, 令和7年度, 令和6年度, 増減, 増減率. Rows include 一般会計, 国民健康保険特別会計, 村営バス事業特別会計, 介護保険特別会計, 後期高齢者医療特別会計, 簡易水道事業会計, 下水道事業会計.

※令和6年度から公営企業会計へ移行

単位未満四捨五入

討論 一般会計予算

賛成討論

大久保利廣 議員

予算総額 32 億 2 400 万円... 高府線が 4 月から減便、9 月末で廃止方針が報道され、村民利用者は非常に心配し不安になっている。県や近隣自治体と連携して、アルピコ交通と協議し通学や利用者への影響が最低限で済むように取組みを要望する。

公営住宅建設費の用地購入や造成費関連費用 3315 万円は、人口増対策や若者定住に効果が大きい。評価し早期の村営住宅建設工を望む。地域おこし協力隊事業の報酬及び活動費が 3287 万円計上された。現在 1 名なので積極的に募集して隊員を確保し地域活性化と予算未執行の防止に取り組まれない。

ている。

高府線が 4 月から減便、9 月末で廃止方針が報道され、村民利用者は非常に心配し不安になっている。県や近隣自治体と連携して、アルピコ交通と協議し通学や利用者への影響が最低限で済むように取組みを要望する。

和田 一秀 議員

昨年度より総額で 1.4% 減の堅実な歳入構成と評価する。

歳出では総務費の移住・定住対策事業費の外部委託費用の減額を評価し、高齢者福祉事業から、子育て支援事業まで継続的・重点的に進めている。带状疱疹ワクチンの新たな補助事業は丁寧な運用説明を要請する。

星と緑のロマントピアは直営事業費が盛り込まれている。新たな指定管理者により早急に営業を開始して、経費の削減と

村の観光振興の一助となる事を期待する。

公営住宅建設事業で 5 戸分の公営住宅建設の住宅用地購入費、測量、造成費用を盛り込み、人口減少対策を評価する。

森林環境譲与税活用品業、鳥獣被害対策の防止柵設置事業やジビエ加工に対する補助金事業の効果を期待したい。

農業従事者の減少や超高齢化が目の前である「農林公社みらい」への赤字補填や従来の補助金交付事業の継続だけでなく、農業機械が大幅値上げされている中で、地域を支える農業者や集落営農者への補助金要件の見直しを要望する。

村長の考える「村政の運営は、継続が基本」との考えの上での、人口減少対策、住民福祉の充実を重視した姿勢が示され、費用対効果を考慮した予算編成であると評価し、賛成討論とする。

賛成討論

新井 幹夫 議員

事業勘定、直営診療施設勘定、直営歯科診療施設勘定の 3 つ勘定科目から成り立つ予算。

事業勘定は、被保険者 485 名が加入し、所得割 7.9% の税率は昨年と同じに抑えられ、医療費の支出も同程度に抑えられ、国庫補助金等も適正に受けていたものと思われる。さらに健康増進を進め、医療費の抑制に努めてほしい。

しかし、13 世帯の保険税の滞納が発生しており、加入者の公平性の観点から早期の全額納入に向けた努力をお願いする。

直営診療所施設勘定は、常駐の小出先生の不在から 4 年が経過している。早期に常駐の先生の確保をお願いしたいが、現在、日替わりの先生で診察が行われており、専門性のある先生の診察を喜んでいる患者さんも居る。予約制の取組みもあり、患者さんを主体的に考えられ、スタッフの対応も大変親切で、帰りの巡回バス等の利用者への配慮や、薬の説明も高齢

者の方に大変親切に行われていると感じる。

昨年 6 月から歯科診療所の開設の事業費が盛り込まれ、4 月 1 日の開設を目指す中、歯科医師の柏原先生に受諾いただき大変良かったと思っっている。

村内から長野の歯科医院に通っている方も、村の歯科診療所に来ていただき、早い時期に軌道に乗る事を希望して賛成討論とする。

村営バス事業 特別会計予算

賛成討論

小林 和人 議員

4200 万円弱で昨年度比、微減であるが、車両の購入が無い事が主因で、実際は循環バス委託料約 100 万円、スクーパバス委託料 200 万円の計 300 万円増が盛り込まれ、今後の予算拡大が心配な部分である。

昨今の騒動は、通称高府線の 4 月からの減便、まだ協議中ではありますが 9 月からの廃止の情報である。

この村営バス事業で一番の気がかりは交通弱者

への対応で、費用対効果の面では色々な考え方も有ると思うが、自家用車が無い人は、通学、通院、通勤などの主たる交通手段であり、非常に心配な所である。

長野市の対応でデマンドの話もあるが、詳細はわかっていない。村と長野市の 2 つの行政区を受け持つバスであり、県でもこのまま放置出来ないと聞いている。報道によれば、教育関係者の方も子供の通学の心配をしている。来月から先行きがわからない所である。今後は村も会計予算を柔軟に対応し早い段階から対策を取り、費用対効果だけでは無い弱者に対する早急な対応を望み、同僚議員諸氏の賛同をお願いする。

討論 公営企業会計予算

下水道事業会計

賛成討論

松本 敏照 議員

長期的視点にたった浄水場及び浄水設備と下水道の補修等を含む、事業

討論 特別会計予算

国民健康保険 特別会計予算

国民健康保険 特別会計予算

計画に沿った会計予算である。

しかし、本定例会に追加上程された令和6年度補正予算第3号に伴う、令和7年度の前年度繰越欠損金と当年度末・未処理損失金の変更が必要と求め、本案に賛成する。

令和6年度補正予算

小川村一般会計補正予算(第10号)

歳入歳出それぞれ2億1923万円を追加するもの。主なものは次のとおり

- ・ 減災基金積立金 1億2万円
- ・ 除雪事業 5600万円
- ・ 地域防災緊急整備事業 3265万円

賛成討論

坂井 正議員

住民税均等割非課税世帯物価高騰支援給付金事業に1105万円、子育て世代物価高騰支援給付金として127万円、次に防災対策費、地域防災緊急整備事業3326万円が盛り込まれ、子育て世帯等の生活

を守るためであり、防災面においても緊急支援として威力を発揮すると期待して賛成討論とする。

小川村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

直営歯科診療所勘定に歳入歳出それぞれ93万円を追加するもの。医療用機械器具 93万円

小川村介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ15万円を追加するもの。賦課徴収システム改修費 15万円

小川村一般会計補正予算(第11号)

歳入歳出それぞれ300万円を追加するもの。特定環境保全公共下水道事業 300万円

小川村下水道事業会計補正予算(第3号)

歳出補正の内容。下水道管布設替工事(大久保橋) 300万円

議案第28号

小川村体験農園施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について

賛成討論

山本 陵議員

賛成の立場で意見を表明する。今後の村施設の管理方針、用途廃止に際しての手順に関し、課題、遺恨を多く残すものである。特に地目の変更や分筆に関しては行政への信頼を失墜しかねない過失であり、さらに事後の対応は行政として有るまじき行為である。今後このような事象が起きないよう努め、真摯に対応いただきたい。条例廃止が滞ると混乱を生じ兼ねないので私の賛成討論とする。

議案第41号

小川村公の施設に係る指定管理者の指定について

施設の名称

小川村星と緑のロマントピア管理宿泊交流施設

指定管理者の名称

オーガニックスリゾートホールディングス株式会社代表取締役 寺島 英紀

指定の時期

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

賛成討論

峰村 正一議員

住民が一番大きな関心を寄せている案件を賛成の立場で討論する。オーガニックスリゾートホールディングス(株)の事業内容は、小布施温泉「あけびの湯」「くわどり湯」たり村「須坂温泉古城荘」など県内外で温泉5施設、宿泊業4施設を事業展開して、口コミ評価で5点満点中4.0から4.4の評価を得ている。経営の理念、行動指針として「常にお客様の立場に立ち最高の心遣いが出来るプロのサービスマンを目指し、安価で良質な商品を仕入れ、取引業者でなく、協力会社として位置づけ、ともに発展していく。顧客満足・コスト削減の成果として得られた利益は、顧客及びスタッフに可能な

限り還元し、仲間の生活の向上に努める」としている。

サービスマナーを重視してプロとしての心構えがしっかり出来ていると判断する。会社の経営状態、財務状況は知人を通しての情報収集でも心配ないと考える。人間関係が一番大切だという思いから村内の取引業者を大切にし、ロマン館を通じて村民の皆様の期待に大いに応えて下さると判断する。

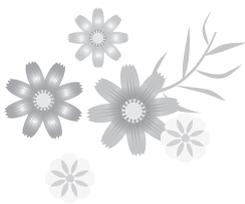
議案の可決により4月1日からの営業を目指し、積極的姿勢も好感が持て、同僚議員の賛同をお願いし賛成討論とする。

山本 陵議員

私は前定例会で反対の立場で討論をした。今回提出されたオーガニックス(株)は、企業情報などの調査で経営状態、経営方針に関し不透明な点が何点か見受けられ、企業戦略も、資料上不透明もあり、面談が重要である。前指定管理者の一件もあり一層慎重に設置者として監督しなければならぬ。

指定管理者制度の運用について自治行政局長通知では、指定管理者制度の適切な運用管理の確保として指定管理者との協定などには施設の種別に応じた必要な体制に関する事項、リスク分担に関する事項、損害賠償責任保険などの加入に関する事項、大規模災害などの発生時の役割分担、費用分担に関する事項など予め盛り込むことが望ましく、指定管理者が労働法令を遵守することは当然であり、雇用条件への適切な配慮も明記されている。

今まで何も無かったから、村長が良いと言ったからではなく、行政の責任として時間や時代に即す必要がある。以上を要求して賛成討論とする。





# 令和7年度予算の 主たる施策は何か

## 村長 村発足70周年記念イベントを 開催していく



一般質問  
新井 幹夫 議員

今期3月定例会には、住民からの要望や、話し合いの中から3点を選び、質問の通告をしている。前向きなご答弁をいただきたい。

問 一点目の質問、小川村は平成20年6月の住民投票結果から自立の村づくりを宣言し、

様々な施策を講じながら24年が経過した。新年度予算では一般会計で32億2440万円が計上されている。「住み続けたい村づくり」に繋がっていくのか、過疎と少子高齢化脱却の重点施策は何か伺う。

村長 新年度予算についてのお尋ねである。予算規模は、2年続きの大災害で、災害復旧費で大幅な増額となったが、令和5年・令和6年に比べてもほぼ同額となる。質問の過疎化・少子化対策については、人口増加対策、住民要望にもお応えした予算編成とした。具体的な内容について

数点申し上げる。公営住宅用地の取得及び造成で、本年度、釜蓋地籍に5棟建設した住宅も全て入居者が決り、今後も需要が見込まれることから令和7年度に用地取得・宅地造成を行い令和8年度に建設を予定する。

子育て支援では、18歳未満の子どもの医療費の無償化を実施、また、小・中学校の教育活動を充実し、保護者負担の軽減をしていく事とし、高校通学費補助も継続して、支援をしていく。

65歳以上の方の带状疱疹ワクチン接種の開始と、高齢者の健康支援も継続して取組みを行う。今年、令和30年4月1日に南・北小川村が統合して、小川村発足70年の節目となる。通常行われるイベント等に70周年を意識しながら盛り上げていきたいと考えている。

小川村発足当時(昭和30年)の人口(人)

|   | 南小川村  | 北小川村  | 小川村(計) |
|---|-------|-------|--------|
| 男 | 2,502 | 2,045 | 4,547  |
| 女 | 2,538 | 2,145 | 4,683  |
| 計 | 5,040 | 4,190 | 9,230  |

「おがわの百年」より抜粋

ただ、現在の隊員数は確保してもらいたいと思うが、これからのように募集活動をするのか伺う。

村長 協力隊事業は平成21年度から総務省の事業として始まり15年ほどになる。本村では全国でも早い取組みの方で、平成24年度から始めた。

昨年度までの10年間で26名の採用をし、その内14名の方が村内に定住している。

ここ1、2年は募集しても応募者が少なくなつたと思つている。常に6名位いる状態にはしたい。手をこまねいているわけにはいかないのでサイトを活用して全国にPRもしていきたいと考えている。

問 最後の質問は、防災行政無線の放送内容の充実について伺う。

放送内容のマンネリ化と1週間に同じ内容を繰り返すなど有効活用出来ていないと感じる。委員

意図 引き続き住民要望の把握に努め、村政を推進して貰いたい。

国、県の動向を把握して村政運営に職員と一緒に進んで貰いたい。事をお願ひし、質問を終りにする。

会の中でも発言をしたが、改善されていないので、この機会を利用して提案をする。

健康づくりの為の情報と土日、朝・夜の放送もタイムリーな話題をスポットで入れるなど工夫と有効活用を努めてもらいたいと思うが、どう考えているか伺う。

村長 防災無線には、災害緊急時の情報伝達のため、村民の生命財産に関わる事等、ある程度放送基準があり、基準にのっとった放送内容となつている。

今後は、村民の皆さんが早く知りたい情報など、担当を含めて検討しながら、有効な放送に努めていきたいと思う。

意図 引き続き住民要望の把握に努め、村政を推進して貰いたい。

国、県の動向を把握して村政運営に職員と一緒に進んで貰いたい。事をお願ひし、質問を終りにする。

一般質問  
和田 一秀 議員



# 乳幼児の休日、時間外での 緊急医療体制の周知は？

## 村長 日赤と契約している 休日、夜間も看護師が相談

問 村の医療体制は常勤の医師は不在であるが、整形外科、消化器外科、循環器糖尿病内科等の医師が交代で務め、評判も大変良いと思う。

緊急医療体制も長野市消防局新町消防署小川分署の存在で、村民はひとまず安心している。

今回、休日、夜間等の乳幼児の発熱などの緊急時、村内に乳幼児の医療機関が無い中で、保護者は自家用車を使い、長野市内で受診したいと考えることが多いと思うが、その場合の対応について伺う。

村長 医療体制は、長野県内の指定医療機関で受診が出来る相互乗り入れ制度が開始される。また、妊娠中から生後の乳幼児の健診を日赤の小児科医の派遣を受け、村で実施している。看護師も同席していて実情を把握している。

問 急な発熱などの非常事態の時、村には緊急医療機関はありません。保護者には、休日、夜間に看護師に相談するのに抵抗があり、新聞の日・夜間の緊急医療情報は現実的でなく、長野市や県がホームページで長野小児緊急電話相談とか子供の病気や怪我に対する緊急医療のサイトで#8000番、#7119番を掲示して、市内の緊急対応の病院を紹介している。村はこの事について、どのように周知しているか伺う。

住民福祉課長 乳幼児の医療受診体制は、長野圏域でも小児科医療受付開始と同時に予約しなければ受診できないという逼迫した状況が一部にある。#8000番、#7119番については、昨年の10月の広報でも定期的な周知し、ホームページ上でも情報提供をしたい。



医療電話相談窓口案内

### 6年度の「ふるさと納税」について

問 ふるさと納税の事業について、令和5年度は、返礼品の単価の見直しが行われているのか、4年度より減っている。

令和6年度の「ふるさと納税」の寄付件数、寄付額の実績について伺う。

問 返礼品の金額、種類がそれぞれ増加しているとのことだが、人気のある返礼品の構成比を伺う。

総合戦略室長 返礼品の内訳を人気で見ると、色々種類があるおやき類が5割強を占める。次に件数別ではエゴマ油、リンゴ、リンゴジュースが10%位、あと醤油、味噌が5%、天空の卵となっている。少ないが木工製品もある。

問 寄付金をどんな事業に使う予定であるかサイトのホームページ上に記載されているが、実績としての使い道について伺う。

総合戦略室長 村づくり推進事業として、移住定住事業、空き家対策事業、移住体験施設の運営費、美しい村推進事業の村内の景観にかかる費用等として、他に観光イベント、介護保険事業にも使っている。

### 「おやき研究所」の事業実態は？

問 「おやき研究所」の事業が村民には理解されていない。事業の実績、今後の方針を伺う。

村長 「おやき研究所」は第2、第3の「おやき」となるような起業、移住を目指す人、女性ビジネスの起業を応援することを目的として移住者の受け入れ態勢の構築のための移住定住に向けた交流を事業としている。

名称も検討し、村をPRしながら移住定住対策事業に成果が上がるよう、新年度の事業の戦略を策定していきたい。

わがおがわふるさと基金（ふるさと納税）

(単位：千円)

| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度  |
|--------|--------|--------|--------|
| 18,905 | 13,682 | 18,337 | 17,241 |

(単位：千円)

| 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  |
|--------|--------|--------|--------|
| 22,789 | 22,522 | 26,160 | 23,694 |

令和5年度「決算のあらまし」より抜粋

# 地域間格差と交通弱者対策について

## 村長 地域間格差は避けられないが、なるべく対応していく

一般質問  
小林 和人 議員



### 地域間格差について

問 年々格差が生じていると思うが認識と見解は如何か。

村長 それぞれの地域課題があり、全域に集落が存在している。地域間格差はどうしても避けられなく、生じてしまうと認識している。

問 交通事情と利便性を求めた若者定住施策があり、広がってしまったというが如何か。

村長 かつては道路改良や、整備が行政の柱となっていた時代があった。残念ながら道路改良や整備をしても転出し、集落が消滅のところも在った。

整備や距離的な事を踏まえても、格差はどうしても避けられないものと認識している。

問 人口や高齢年代層の居住率でも広がりが出て

いると思うが如何か。

村長 地域の整備や草刈りもままならなく、子供たちが遊んでいたかつての姿は無い。年間の出生数が10人前後の中で、子供が集中している集落も無い。大小の違いがあっても格差が生じている。相対的には同様の状況下であると考えている。

問 地域存続が危ぶまれている所もある。どのように対処して行くのかか。

村長 過去には区や組の統合等について、いくつかの地域に向いて説明した経過もある。

瀬戸川区では区の統合が早々に出来た。以後、区長組長会でもその様な機会や考えがあれば、行政としてもご支援やお手伝いを致しますと云って来た。ただ自治区自治体

というものは地区の皆さんが、地域を守り運営して行く考えのもとだと思う。

問 災害対応やライフラインの構築復興の意味でも、避難所的施設の分散化や地域組織力の強化でも、行政として積極的に進める施策だと思いが如何か。

村長 くつろぎの郷は議員の指摘を受けて出来た施設と認識している。施設の分散化も相応の災害対応とした場合に、必要かと思う。片や一方では、公共施設管理計画の中で、払い下げや取り壊しをして、集約や効率化を求める計画もあり、一概に言えない部分がある。



瀬戸川地区にある「くつろぎの郷」

### 交通弱者対策について

問 県道のバス路線の変更や廃止の報道の中で、デマンド事業の対応柔軟化が必要である。

当日の予約対応、時間帯の延長が必要と思うが如何か。

村長 中山間地域の移動手段として、苦慮している。村では自家用車必需品との声も聞くし、認識もしている。

現状下は循環バス、スクールバス、デマンドバス運行にて対応している。十分とは思っていないが、住民の声も聞きながら手段の確保をしていきたい。

県道バス路線については、長野市との連携や協議を踏まえて、交通手段確保をして行きたい。

問 別の移動手段が容易ではない交通弱者対応を含め、利便性の高い施策とすべきではないか。

村長 なかなか使い勝手ではないと認識している。地域団体組織としての会員制度運用、等々の事例もある。どんな事が可能なのかも含めて、諸々の可能性について検討していきたい。

問 行政施策として村民目線での対応が求められるが如何か。

村長 委託業者は、時間割りで循環バス、スクールバス、残りの部分で、デマンドバスとして、運行している。ドライバー不足も含め、中々難しい現状下だが、今後においてあらゆる面で検討対応していきたい。



待機する循環バスとデマンドバス

# 災害認定漏れの無いよう 雨量計の増設を

## 村長 現状で村内全域を網羅している



一般質問  
おおくぼとしひろ  
大久保利廣 議員

### 防災対策拡充

問 近年は、集中豪雨やゲリラ豪雨が頻繁に発生し、村でも令和 4 年、5 年と大災害に見舞われた。今後も村内地域への局地豪雨が発生することが予想され、災害認定は雨量が重要な基準である。認定漏れの無いように雨量計の増設が必要と思うが如何か。

村長 雨量計は現在、村内 6 箇所に設置してある。村の面積が 58 km<sup>2</sup>なので約 10 km<sup>2</sup>の面積に 1 箇所の設置となり、村内全域を網羅できているものと認識しているが、花尾地区・稲丘東地区は雨量計から距離があるので、県で設置の砂防センターの雨量計のデータを、村と繋げる事が出来るか検討したい。

問 村内に 300 箇所に上ある防火水槽は経年劣化により、修繕や更新が必要な施設は相当数あると思われるが今後の方針

と、以前実施していた有蓋工事の継続を要望するが如何か。

村長 地区要望によって、令和 7 年度は 2 基の防火水槽を新設予定で修繕費も含めて予算計上している。今までも地区からの要望後 1〜2 年以内に設置を実施してきた。有蓋工事については、適した構造の防火水槽が少ないことが工事が減つた要因と思うが、工事可能な水槽が地域にどの位あるか検討したい。



修繕が必要と思われる防火水槽

問 大規模災害等に備えて非常用の食料や生活用品をどんな基準で備蓄しているか。  
危険区域が多い本村は、災害時には孤立する

集落が多い事が予想されるので、備蓄品を指定避難所の一部にも分散しての備蓄は如何か。



役場倉庫の備蓄品 (飲料水)

村長 国の災害対策基本法や県の防災計画に基づいて村の防災計画ができて、食料品は人口の 5% × 3 日分など計画に沿って備蓄品を確保している。  
本村では完全な孤立は考えにくく、備蓄品の分散化は却って使い勝手が悪く考えていない。

### 簡易水道施設

問 本村の水道は主に表流水の取水であり、自然的・外的影響を受けやすく安定的な取水が危ぶまれる。

将来にわたって湧水のような良質な水を村民に供給できるように、水源の確保に取り組んで如何か。

村長 給水人口が多かった当時、他の水源を検討したが、飲料水に適した水源はなかった経緯がある。給水人口が半減の今は、新たな水源確保の必要性は考えていない。

問 成就浄水場は給水開始から 42 年が経過し、経年劣化により不具合も発生している。重要なインフラ整備で、更新の時期が来ていると思うが今後の方針を伺う。



老朽化する成就浄水場

村長 現在基幹改良工事中であり更新は直近では考えていないが、必要性

は十分認識しているの  
で、今後耐用年数等も考慮し検討していく。

### 観光振興

問 村の素朴な自然環境・文化財など豊富な資源やイベントなどの PR に、ホームページを全職員がもっと有効活用に取り組む事で、更なる観光振興に繋がると思うが如何か。

村長 ホームページは、観光事業だけでなく様々な情報提供ができて有効な手段であり、庁内全般で相対的に管理し活用していく。

観光の面では、イベント等の村単独での PR だけでなく、今後は近隣市町村との連携による事業推進も重要と考える。



# 子ども家庭庁の子育て支援事業 ファミリーサポート事業の導入について

## 村長 一時預かりを保育園で実施している



一般質問  
坂井 正 議員

問 村では第6次小川村振興計画に目標施策としてファミリーサポート事業や子育て短期支援事業(シヨートステイ)などの整備を掲げている。

こども家庭庁の市町村に向けた通知では、乳幼児や小学生などの児童を有する子育て中の労働者や主婦を会員として児童の預かり支援を受けたい人と、援助を行いたい人の育児の相互援助の推進と病児病後児の預かり、早朝夜間などの預かりや一人親家庭等の支援を市町村が実施主体として行う事を求めている。村としての取り組みを伺う。

村長 この事業については育児子育て中の世帯で、育児の預かりを希望する依頼会員と、子育ての援助手助けを行う提供会員の相互の援助活動を市町村が行う事業で、本村に限らず多くの自治体で、サポートを提供できる会員の確保が難しいため実施していない。村では保育園で一時預かりを実施している。

満一歳の児童を対象に月々土曜日までの午前7時30分から午後6時45分まで週三日を上限に預かっているのが現状である。生後六カ月の乳児からの受け入れも検討している。

問 この事業の近隣の町村での取り組みとして、小谷村で20世帯 生坂村で5世帯が利用しているとのことであった。

小谷村では家事支援が多く、生坂村では協力会員として子育てを終えた六十代が多く、病児病後児保育はなく近隣の病院を利用している。

両村とも利用者の講習会を保育士を講師として3回程度実施している。生坂村では保育士の指導のもと、協力が複数の乳幼児を見守りして、保育援助をし人手不足を補っている。村として事業の再考をお願いする。

村長 この事業の必要性については認識しているが、事故やけがなどの心配から提供者が少ないこ

とが現状である。時間帯も含め、更に利便性を深めるため検討していく。

問 長野市を中心としたこの事業の広域連携としての取り組みは如何か。

村長 7市町村が参加している。例えば、小川村に在住して長野市通勤の方が一時預かりを依頼し、子供と一緒に帰宅することができるとのこと。

利用料金を含め、自治体としての支援が大切であり、アンケート結果から事業を知らない方が多いので内容を周知していきたい。

### 観光立村を目指して

問 第6次小川村振興計画では、コロナ禍で令和4年に6千800人にまで減少した村の観光地年間利用者数を、令和10年に3万人にする目標である。村政70周年を迎え、各種イベントのスケジューリングと意気込みを伺う。

村長 4月 桜ウィーク

6月 サッカーフェア  
8月 大洞高原サマーフェスティバル  
10月 おまつりスペシャルinおがわ  
12月 イルミネーションウィーク

等を計画している。例年と違い内容盛り沢山で考えているが詳細はこれからである。大勢の参加を期待したい。

問 薬師沢石張り水路草刈り等、実務と観光としての重要性を広く知ってもらうため、村としての広報活動が大切だと思いが如何か。

村長 薬師沢石張り水路群の草刈りは砂防総代が主催で、砂防ボランティア、県職員OB、村関係者、中学生や近隣の企業の皆さん等が大勢参加している。大切な事業であるので一層広報に努めていく。

### 交通安全の取組み

問 イベント開催時の駐車場確保と交通安全対策は如何か。

村長 新たな駐車場確保については具体的な計画はない。駐車場案内も含めて利用者の安全性を十分注視し、実施していく。

問 オリジナル道路の無料開放により交通量が増え、事故防止等、交通安全に新たな取り組みが必要であると思いが如何か。

村長 2月16日より無料開放した。初日は交通量が約2倍に増えた。迂回路の車が合流した為である。

今後、交通安全週間も踏まえて安全協会、地元の方々と協力しながら啓発活動に努めていく。



一般質問  
峰村 正一 議員



# 村内の防犯カメラ・監視カメラの設置状況を伺いたい

## 村長 保育園・小中学校に設置はないが、保護者の皆さんとも、相談していきたい

問 保育園、小中学校における防犯カメラの設置状況について伺う。

答 テレビ、新聞等の報道では信じられない事件・事故が起こっている。キャベツ、白菜、高級ブドウなどの窃盗事件から銃による乱射事件、通り魔による殺人事件等、何が起るかわからない今日の世の中、事件を振り返る事を目的として、通園、通学する園児児童生徒達のメイン道路等に、防犯カメラの設置が必要と思うが如何か。

村長 利用されている方がいつも見られている等の、プライバシー等々で懸念される意見も多々ある。行政が一方的にということはお聞きながら検討した。保護者の皆様方にお考えをお聞きしながら検討したい。

問 小川村教育委員会としての考えを伺う。

教育長 学校はどこからでも人が入るので、設置場所が問題となる。道

路沿線、数ヶ所には設置の必要性もあるものと考えている。

問 監視カメラは、事件・事故等が起きた時に監視し、時刻や証拠映像等を振り返る事を目的として、活用されている。村を通過する県道・村道に監視カメラの設置が必要と思うが如何か。

村長 県警の補助事業で、1/2補助で上限25万円の補助事業がある中で、地域要望等があるかどうかでも踏まえて、補助体制等も今後の検討課題としたい。

### ロマンピエア周辺の有効利用

問 ロマンピエア周辺の有効活用、活性化については、以前の一般質問で、テニスコート周りの活性化について申し上げた。

答 法地方面に下る村道1号線の道下には自己保全管理農地が20筆、9名の地主さんがおられる。当然地主さんと協議は必要

となるが、ドッグラン、スケボー、マレットゴルフ1コース増設など色々考えられる。

テニスコート跡地には、ミニ公園を造り北アルプスに正対して子供用ミニブランコ赤・黄・緑色の4台位、端には大人用ブランコをアルプスに正対して創る。

テニスコート駐車場から飯縄西友会が管理している円山に歩道橋を掛けて、東屋、BBQハウスを小川村育成会等に開放、さらに、ロマン館駐車場にキッチンカーを設置し、コーヒー、ジェラート、たこ焼き等、様々な事業展開で集客に務め、ロマンピエア周辺の活性化を図る事が大切だと考えるが、如何か。

村長 橋を掛けると言う事は、自然と景観の大切な処に構造物は如何なものかと思う。色々なアイデアがあるわけであるが、是非何とか有効な利用方法に向けて取り組んで行きたいと思う。

問 LINEヤフー株式会社地方公共団体に向けて提供している、LINE公式アカウントを無償化したプランを利用するグループLINEは、

村を留守にしている場合も、朝・夜のお知らせや、火災、熊の目撃情報等の緊急連絡が、お金をかけずに、グループLINEにて情報を伝えることが可能になる。

村民向けのグループLINE設置は如何か。

村長 防災行政無線放送を文字での放送を考え、新年度予算に計上している。RAIDENボックスを契約しLINEやメール、ホームページの掲載が可能となるシステム。音声は文字を送付する事により、AI音声を作成するシステムで、9月からの運用を予定している。緊急放送、災害放送、通行止情報等も、村外に出ても、常時確認できる。新年度予算の中に計上しており、月に4万円の使用料金となる。

問 染野村政2期目として、村営住宅が順調に建設されている。

移住者定住者促進、人口減少対策としても、重要な政策だと思ふ。しかしながら、住宅の建設は、村中心地に集中している。

稲丘地区では飯縄分団消防団員の定年による人員減少、地区役員の高齢化等が顕著な現状にある。自営業をやりながらの役員は非常に負担になっている。そんな観点からも次の担い手が増える為にも、クラインガルテン東側には4棟位村営住宅を建設出来る場所もある。稲丘地区に村営住宅の検討は如何か。

村長 標高1000mで景観の大変魅力的な場所である。しかし村営住宅に住む、若い世代は目標目線が違うように感じられる。

分譲と言う方法もあるが、大変魅力的な場所であるので、色々な事を踏まえて再度検討したいと思う。

# 中長期の財政見通し作成は 必須であると考えが如何か

## 副村長 職員と前向きに検討していく 総務課長 今後勉強しながら検討していく

一般質問  
山本 陵 議員



まず質問の前に、私の質問の趣旨や質問の内容に関し、行政執行部より私に対し「反問権」を議長に認めていただきたい。

ためには、維持管理コストの効率化だけでなく、人口の減少に見合った分だけ、施設の総量を減らす必要があり、令和10年度までに施設総量を14.4%縮減することを目指す。」とあるが、進捗状況と、今後の目途について伺う。

### 過疎地域持続的 発展計画と公共 施設等総合管理 計画

問 計画通り、この計画が進捗しているのか、進捗状況と今後の見通し、課題を伺う。

村長 公共施設の床面積14%減らすなんて、これはあくまで机上の話であって、こういったことはできません。公共施設管理計画と過疎計画とは全く連動しておりません。

村長 過疎計画に載っているものでないと、過疎債の利用ができないので、心配されること、懸念されることを、すべて盛り込んだ計画のため、具体的に進捗状況、何%とか、ということはない。上げられない。

副村長 令和10年までに床面積で14.4%縮減するところには、行き着かないという感触を持つている。必要性が少ないものを譲渡していくような形で、減らしていくことを今後続けていくことは当然必要であり、公共施設の規模というのは、縮減の方向に向けていかねければならないと感じている。



過疎地域持続的発展計画

問 小川村過疎地域持続的発展計画の中で、「公共施設など、総合管理計画との整合」とあり、長期的な視点で、具体的に検討するために、中長期の財政見通しは必要不可欠であると考えが如何か。

村長 予算計上の歳入歳出が合わない、財源が足りないということでは基金を充てているものであり、決して財政が苦しくて、基金を取り崩して基金が枯渇するなどということはない。

副村長 様々な行政運営上の条件が絡み合うので、財政の収支見通しについて、断定的なことを申し上げるのは大変難しいが、小川村は、地方交

付税、交付金が非常に財政の大きな柱となっており、それは国の動向に左右され、その上で、数字の上だけで申し上げると、個別施設計画に、今後の維持更新コスト金額が、40年間で14.4億円かかるという点も事実。仮にこの14.4億円、1年間に直すと、3.6億円平均となっており、10年間で36億円かかるわけで、基金は、30億円ちょっとしかないもので、国が交付税措置してくれなかった場合には、基金が枯渇するとうい計算になる。

問 今後予測される経常的、臨時的な支出、その財源を推計し、収支状況を把握して、収支結果を踏まえ、本村の今後の財政運営における課題を明らかにし、必要な対策を検討し、役場職員、議会、住民に、本村の財政状況を把握していただき、長期的な財政運営の健全化を目指すための共有情報となるように、中長期の財政見通し作成は必須であると考えが如何か。

副村長 村においても、財政見通しを一定の数、仮定のもとに立て、住民の方に説明をしていく。それによって、村の政策に理解をいただくというのは必要であるという認識を私は持っている。ですが、今の村では、そのノウハウはないので、まず私自身がノウハウを身につけた後、実際に作れるかどうか、職員と前向きに検討していく。

総務課長 今後勉強しながら検討していきたい。

一般会計基金現在高の状況 (単位:千円)

|          | 令和3年度     | 令和4年度     | 令和5年度     |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 財政調整基金   | 1,191,419 | 1,299,803 | 1,308,295 |
| 減債基金     | 1,018,989 | 1,022,494 | 1,106,606 |
| 公新共築施設基金 | 313,737   | 318,048   | 322,359   |
| 一般会計基金   | 2,960,946 | 3,086,898 | 3,180,941 |

令和5年度「決算のあらまし」より抜粋

一般質問  
まつもと としてる  
松本 敏照 議員



# 新年度予算の要諦は？

## 村長 重点施策「五つの柱」+地域要望の充実 村政70周年記念イベント→霜月のころを予定

問 新年度予算の要諦（重点政策や課題への対応）について伺う。

村長 新年度当初予算の骨子は、  
一 人口減少対策としての地域振興と活性化  
二 高齢者福祉の充実  
三 保健医療福祉政策の向上  
四 道路整備を始めとする生活環境整備の促進  
五 子育て支援事業等である。  
具体的施策として、様々な多くの村単独補助事業を見直し、日頃からの村民要望、地域要望、また議会一般質問や例月監査指摘事項を反映させたものとしている。加えて、村政施行70年という節目の年を迎えるので、記念事業等も考えている。

問 防災対応の充実について伺う。

村長 令和6年度補正予算に災害用備蓄用品（トイレトレーラ、防災備蓄倉庫、避難所支援用品）等を計上した。



購入予定の同型トイレトレーラ

### 地域おこし協力隊員・集落支援員の充実を

問 村のHPで協力隊員を募集しているが、募集業務のほかに、①自主財源の充実と地場産業の振興メリットに加え、今後の事業発展に大きな伸びが期待できる「ふるさと納税」に関する業務、②先ごろ県で導入された生成AIコパイロット\*を活用した業務効率化推進業務、この二つのミッションを担える人材を追加募集するお考えはないか伺う。

村長 今後の行政を進めていく中で、そういった人材、また知識のある方が必要ということになれば、その時には速やかに対応していきたい。

問 当村で活動を終えた協力隊員の定着率は46%ですが、長野県の任期満了隊員379名の定着率は82%です。  
当村との定着率の乖離をどう捉え、定着率改善に向けてどのように取り組むのか伺う。

村長 残念ながら、本村に至っては約半分ということ、この内容については精査すべきと考えている。議会の皆さんからも、村民の様々なお考えやアイデア等も、また体験者のお考え等々も聞きながら最善策を尽くしてまいりたい。



集落支援員の拠点となる「おらほのえんがわ」

問 集落支援員には任期がないため、地域の実情に明るい集落対策の推進ノウハウと知見がある人材であれば、資質・能力・人柄を考慮した上で、活動実績を踏まえた協力隊OBや地元有識者も含めた選考対象者の中から、今後も必要に応じて選任することが肝要と考えます。協力隊員・支援員に対する期待と展望について伺う。

村長 今後の地域活性化を踏まえ、現状の一名ということだけではなく、将来を見据えながら事業を進めてまいりたい。



保健センター横に完成した歯科診療所

### 訪問歯科Ⅱ往診早期スタートを

問 通院負担がなく、生活や介護サービスの変更

を伴わない訪問診療のニーズは、要支援・要介護の方々のみならず、かなり多いと推察します。可能な限り迅速に、訪問診療を始め頂くよう強く要望いたします。具体的な対応について伺う。

村長 往診につきましては、ドクターを中心に、スタッフを職員がサポートする体制を組みながらこれから進めてまいりたい。



星と緑のロマン館周辺施設

### 星と緑のロマントピア

問 ロマントピア・アルペンドーム一帯の中長期投資方針について伺う。

村長 長期的視点に立って、エリア全体に向けた有効なかつ最小限の投資による集客アップを図る。

\*生成AIコパイロット：AIアシスタントで、文章や画像の生成、データ分析、アプリケーションの活用方法の提案などを行うシステムのこと。

委員会報告

総務建経常任委員会

閉会中の委員会活動

2月13日(木)、東筑摩郡生坂村へ管外視察と所管事務調査を行った。

《管外事務調査》

〔調査項目(生坂村)〕

建設直営工事の状況

- ・主に道路補修、小さな陥没箇所をアスファルト舗装補修材で実施、年間予算10万円未満。
・水道漏水工事、除雪業務は、業者と村で分担し実施、除雪用ドーザ4台所有。

人口増対策

- ・地域おこし協力隊15名、集落支援員7名。
・任期終了後は就農が多い、ゲストハウスの起業、役場職や集落支援員で定住。
・田舎体験住宅は譲渡の

北信交通安全共済の加入状況

- ・加入者数1929名。
・見舞金の請求件数は、直近3年間で13件。

地域おこし協力隊員

- ・中古建物を改装利用。空き家バンクは直営で今年度登録7件、契約1件、昨年度8件成立。
・若者定住住宅4団地30棟を建設。

その他

- ・環境省の脱炭素先行地域に、生坂村が選定。
・民家、事業所、公共施設等への太陽光発電・蓄電池の導入に取組中。
・公用車をEVに更新し、休日に村民に貸し出し、CO2削減に取り組む事業を開始。

景観整備事業について

- ・堆肥センター上の杉木の伐採は、森林環境譲与税を使う地区要望事業で実施。
・地主への材木の費用弁済は無償。

水道水の濁りについて

- ・村内各所で上水道管の老朽化が進むため発生。今後計画的に管洗浄、末端汚泥の排土を実施。

〔総務課関係〕

ロマン館の指定管理先の再募集

- ・問合わせは、現在まで3社、応募後に審査し候補先を決定。指定管理の開始は7年度4月目標。

直営班の体制について

- ・会計年度任用職員2名を新規採用、来年度も継続予定。
・経験者の会計年度任用職員の任用も予定。

委員会報告

社会文教常任委員会

閉会中の委員会活動

2月4日(火)、管内視察(公民館、びっくらんど小川、直営歯科診療所、小川の湯いきいきプラザ、ゲートボール場)と所管事務調査を行った。

《管内・所管事務調査》

〔住民福祉課関係〕

- ・老朽化した霊柩車の更新を1月29日実施。
・現状0才〜18才までの窓口医療費500円を、新年度から公費負担とし、完全無償化とする。
・物価高騰支援給付金は、総合経済対策で、非課税世帯1世帯当た



更新された霊柩車

- り3万円、付随して児童1人当たり2万円が追加で給付となり、3月議会会で予算議決後に給付予定。

直営歯科診療所

- ・歯科診療所新築工事の進捗状況を視察、工事の進捗状況は7割位の完成と見受けられた。

小川の湯いきいきプラザ

- ・介護予防教室の「まめつてえ会」が開催されており、講座の様子も視察する事ができた。
・室内は快適な温かさで床も温かく快適な環境が保たれていると感じた。

ゲートボール場

- ・人工芝に張り替えられその上に、砂が綺麗に敷き詰められていた。
・屋根の漏水箇所はポリカーボネートをコーティング素材で修理し、完了している。

〔教育委員会関係〕

- ・新年度小学校入学児童保育園から6名、区域外通学1名、転入2名、合計9名。

- ・中学校の入学生は小川小学校8名、鬼無里から2名、中条から1名、合計11名。

- ・米・食料等が高騰しており、給食費を100円近く上げないと足りなくなる。給食費を上げるという事は避けるべく、保護者負担軽減に向けて、新年度予算要求に計上している。

公民館

- ・駐車場、公民館に登つて来る道路等の一部、4筆830㎡は賃貸から村の所有地となる予定。

びっくらんど小川

- ・駐車場の一部、2筆、2123.77㎡は賃貸から村の所有土地となる予定。

村民の声

～村に思うこと～

進学のため郷里を離れる今  
想うこと



高府町区  
小林 和菜  
(インタビュアー)

中学校生活までを振り返って

◆四歳、ここに保育園に入園。年少20人の村内散歩：お弁当が美味しくて：

◆小四、総合学習で祭囃子（若獅子会指導）の横笛を教えて頂き、習った仲間と一緒に音楽会で披露。

◆小六、住用村にホームステイ。初めて乗った飛行機から見えたエメラルドグリーン的大海：浜辺で遊んだ仲間との一体感を忘れない：

◆近所とのつながり



稲丘東区  
和田 千草

小川村に住んで17年。義祖母と主人の3人暮らしで、共働きの私たちは地区の活動は殆ど義祖母任せでした。2年前に義祖母が亡くなり、ついに世代交代。私たち夫婦が地区の活動に参加するようになりましたが、皆さんとても優しく感謝しありません。ここで一番戸惑ったのが屋号です。顔はわかるのに名前と屋号が一致せず、名前も我が家の周りほとんど和

◆中一、吹奏楽でチューバを習いながら、音楽好きな保育士になりたいと思いました。

◆高校時代・生活面の焦心苦慮

◆高一、生徒数があまりに多くて戸惑い：小川中が懐かしくて：数か月間体調を崩し：そんな時、軽音楽部が手を差し伸べてくれました。

◆高校時代・通学面の悩み

◆三年間、朝は両親に送ってもらい、部活後の帰りは、路線バスを乗り継いで通った：乗り継ぎが悪く、中継の長野駅で一時間余り時間調整：小川から長野市内にバス通学する高校生が5、6人いました。

◆高府発着のバス路線便数が元々少ない上に、片道通学時間は二時

田。まず屋号を覚えることから始めねばと、オリジナル屋号地図を作成し頑張っています。そんな地区の集まりで良い出会いもありました。それは40代メンバーが何人もいたこと。今では「味大豆ヤング会」（味大豆では40代はヤングです）と名付けて定期的に我が家でBBQや手作り餃子・鍋パーティーなど開催したり、マレットゴルフ大会の前には、みんな大洞に練習に行ったことも。これから周りとのつながりを大切に、楽しく過ごしていけたら良いと思います。

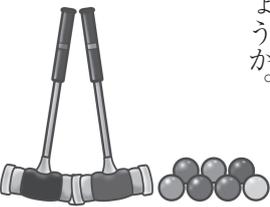
最後に、村暮らしがさらに快適なものになるよう、小川村の公式LINEアカウントを作っていた

間半、さらに、通学定期券割引があっても親の負担は大変で、私にも家計にも苦しいダブルパンチ。これからの地域（お祭り）への思い

◆中学では笛を吹かず、高一の冬、高府中町が神楽当番の時：お囃子は男性だけだったけど：女性も参加すればと誘われ勇気を振り絞った：若連（引き燈籠）で笛を吹いてるお父さんが励ましてくれたから：春秋ともお祭りに参加、笛の音を聴いた人から褒められた時の感激は忘れられない。

◆進学を機に親元を離れても、地域のお祭りにはこれからの機会があれば参加したい。お囃子という音楽に、地域を跨ぎ（高府の人に限らず）年齢の垣根を超えた女性の参加が増え、にぎ

だけたら嬉しいです。お知らせのほか、通報・申請などもLINEからできるようになると、働いていて在宅時間が少なく有線を開けない人や村外に住む家族でも、時間に関係なく情報を得ることができそうです。スマホを持っている人なら殆どの人が使用しているLINEもうまく活用できれば、イベントの集客アップにも役立てられるのではないのでしょうか。



お詫びと訂正  
前回211号で、徳武昭人さんの村民の声の文中に次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正します。  
誤 「公的な害物」  
正 「公的な書物」



味大豆集落

やかなお祭りになればいいと思う。人口減少が進む小川村に想うこと  
◆どうしようもない問題だけど、たとえ定住や子育てがどんなに大変でも、働き場所があり、通勤通学40、50分圏内であれば、通学費半分かバーだけで相当違うと思う。  
◆専門学科のある高校が小川か、近くにあればいいかも。  
◆郷里を離れる不安と希望  
◆生家を離れることに不安はあるが、興味があることに挑戦すれば、自信にもつながり今より成長できると思う。少し疲れたら：また静かで落ち着ける小川に帰り：いつまでも挑戦し続ける自分でありたい。  
(インタビュアー 松本敏照)

議会の動き

|           |          |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |           |
|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 7         | 6        | 5         | 4         | 3         | 2         | 3月        | 28        | 27        | 21        | 20        | 19        | 17        | 16        | 14        | 13        | 11        | 7         | 6         | 4         | 2月        |           |
| 熟年大学閉講式   | 本会議 一般質問 | 本会議 一般質問  | 本会議 一般質問  | 本会議 議案説明  |
| 25        | 24       | 23        | 21        | 19        | 17        | 4         | 2         | 4月        | 28        | 27        | 26        | 24        | 22        | 21        | 19        | 18        | 17        | 13        | 12        | 10        | 8         |
| 議案編集特別委員会 | 鳥獣供養慰霊式典 | 議案編集特別委員会 |

路線バスの減便・廃止の問題が村民の皆さんの中で話題になってい

ます。通学生や医療機関通いの高齢者の足となつている路線バスが、4月から減便、9月末をもって廃止方針というところが、3月になって初めて表面化して驚くとともに、多くの村民の皆さんからも心配する声寄せられています。

現在路線バスを利用している方にとっては、あまりにも突然のことで、戸惑っている方も多いのではないかと思います。減便でさえこれまでの生活の見直しが必要になってくる方もいると思われるのに、廃止となればなおさらです。

対応策についても減便に対しては検討する時間さえなく、廃止についても僅かな時間しか残っていません。このまま廃止となれば、現在路線バスを利用している人に限らず、今後運転免許証の返納を考えている人達等、村民全体の生活に大きな影響を与えてきます。人口減少が加速する心配さえあります。対応策については、県も一緒に考えるようですが早めに有効な方策を

示してほしいものです。

議会では広報公聴検討委員会を立ち上げ、議会報の刷新を図ることや村民の皆さんとの公聴をどのように進めていくか検討しています。

このうち広報については、紙ページの議会報を皆さんのところにお届けすると同時に村のホームページでも公開しておりますが、今後はホームページでの公開は、紙ベースのものよりも1週間程度早く閲覧できるようにになります。

議長雑感

議長 西沢哲朗

4月1日から国保直営の歯科診療所が診療を開始しています。

昨年5月に民間の歯科医院が撤退となつてから歯科医師が無医村状態が続いていましたが、ようやく解消されることになりました。

小さな村で自前の歯科診療所を設置することには勇気がいったと思いますが、高齢者の皆さんにとっては、身近に歯科診療所があることは大きな安心に繋がるのではないのでしょうか。

大勢の皆さんに利用してほしいと思っております。

編集後記

この議会報が皆さんのお手元に届く頃、新緑の候、いかがお過ごしでしょうか。

今3月定例会は、この4月からの新年度に向けた大切な議会でありました。

議案一つとっても、議員それぞれの思いがまつまっています。

例えば、同じ賛成でも、十分の賛成もあれば、十分の五賛成もあります。

その意見を同僚議員に示すのが、討論です。私は、議員それぞれの意見が混ざること小川村の将来に向けた建設的で前向きな議論ができればと思いつながら議会に臨んでいます。

今後も、議会報編集特別委員会一同、より村民の方々に分かりやすく、興味をもつて目を通して頂けるような「議会だより」の編集を行ってまいりますので、皆様の屈託のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。(山本陵)

議会報編集特別委員会

- 委員長 和田 一秀
- 副委員長 山本 陵
- 委員 坂井 正
- 委員 峰村 正一
- 委員 松本 敏照